

「緑揚会」準備委員会



平成27年8月より農大二高OB・OGによる「農二経営者の会（仮称）」を立ち上げ同窓会有志にて準備・研究をしてまいりました。10月には本会名称を「緑揚会」とし、その後の同窓会役員・教職員・保護者会合同懇親会において承認される運びとなりました。「緑揚会」とは読んで字の如く「緑」は農大二高そのものであり、「揚」は東京農大ゆかりの榎本武揚の「揚」をとって命名させていただいたものです。「揚」は高くあげる、盛んにする、知れ渡る、明らかにする、など経営的にも多くの明るいイメージがあり、本会の活動目的に相応しいネーミングとなりました。

「緑揚会」は本校出身者の経営者または起業を目指す者で構成される会です。会社の規模や実績、営業地域などで区別することはありません。本会最大の存在意義は「農大二高OB・OGのネットワークを皆さまが様々な場面で有効活用していくきっかけ役となること」であり、「現役生徒や保護者の皆さまに対しても本会をご活用いただける有益な活動を目指すこと」にあるでしょう。

現在は会則規定や年間活動計画案などを協議しており、いよいよ会員を募集させていただく準備も整いつつあります。平成28年秋の設立総会開催に向け、今後もっと多くの仲間とともに準備活動をして参りたいと思います。

先輩諸兄、後輩諸君よりご意見、ご指導をいただきながら今後の「緑揚会」設立に向け精進してまいります。今後、「緑揚会」をお見知りおきいただき、本会活動に対しましてご理解、ご協力を賜りますれば幸いです。



準備委員長
竹内 一普(24期生)

お問い合わせ

事務局 上原 政弘(25期生)
TEL.090-3344-1935

旭 剛正(25期生)
TEL.090-7428-7091



同窓生のグローバルな活躍を支える『海外支部』、活動開始 フェイスブックで情報発信中!

『農大二高同窓会を日本一の同窓会にしようじゃないか』。

それは2013年6月、当時まだ私がアメリカ在住中で日本に帰郷した際にお会いした同窓会顧問・塚越さんが仰られた一言でした。また塚越さんは『農大二高も設立50周年を迎え卒業生は3万人を超え、部活動や卒業年度ごとの同窓会組織も活発に活動している。グローバル化が進む今の世の中、海外との関係を持っている同窓生達を繋いではどうだろうか?』と言うのがそのお話しでした。

私も日本から海外に飛び出して25年以上が経っていましたが、実はその間に住んだアメリカ、カナダで農大二高卒業生に出会ったことは数知れず、みなさんの目的は永住や駐在、留学など様々でしたがその人数は軽く二桁を越えていました。ですので塚越さんの仰ることは自分の体験値としてしごく自然に感じられましたし、そうした状況は今後更に進むと確信しました。

そこで2015年6月、海外に関連し『暮らす』『動く』『学ぶ』などする同窓生達の国境を越えた横断的な交流や親睦を図り、同窓生としての一体感と母校との更なる繋がりを育てることを主旨とし、農大二高同窓会・海外支部を設立しました。またこのような同窓生によるネットワークを最大限に活用することで、後から海外に挑戦しようとする後輩達への『勇気』『潤い』『問題解決』など有益な情報提供を行い、母校及び後輩達のグローバル化を支援する役割りを果たすことも目的とします。

言うまでも無く、これからの世の中では海外と関わりを持たずに暮らす事は不可能と言えます。そうした状況の中で現在はFacebookなどSNS（ソーシャル・ネットワーク・サイト）の場を利用した同窓生の近況や活動報告などを主に行っていますが、将来的には以下のように活動の幅を広げていく計画です。

農大二高同窓会海外支部 20期生 鎌塚俊徳

主な活動

- A: SNSを利用した近況や活動報告。
- B: 在校生の海外研修(修学旅行、オリンピック等のスポーツ国際大会出場、文化・芸術イベントなど)のサポートや応援。
- C: 在校生を対象とした海外留学や海外生活についてのセミナーや講演など。

会員対象

農大二高の在学、卒業、勤務経験者およびその家族。または農大二高のグローバル化を応援したいと願っている有志なら誰でも会員とします。

- A: 海外在住者
- B: 海外在住経験者(留学、駐在、移住など)
- C: 海外に関係のある者(会社や取引先、研究機関など)
- D: 海外に関心のある者(留学希望・予定者や駐在赴任予定者、海外での起業予定者など)

現在は賛同者を増やしたいと思っていますので是非Facebookにアクセスして頂きますようお願い致します。

フェイスブック  <https://www.facebook.com/nouniobos/>

